

**わがまちの
「ちよっといい話」**
NO. 1
「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

**○ペットボトルの
キャップを**

キャップを集めて、海外の恵まれない子ども達に、ポリオ（小児マヒ）予防のワクチンを送る活動が笠松町内に広がっています。笠松町はプラスチック類として資源収集してはいますが、キャップだけ集めれば四百個を十円で引き取ってもらえます。このお金がワクチン購入にあてられるのです。ポリオワクチン一本は二十円。八百個のキャップを集めればポリオワクチン一本を送ることができます。また、八百個のキャップをごみとして焼却処分した場合に発生する二酸化炭素を六・三キログラム減らすこととなります。この活動は、福祉問題と同時に環境問題にも取り組むこととなります。

**ご存じですか？
「エコキャップ運動」**

○自分たちでできる社会参加
社会のために何かしたいと、考えていた松枝放課後児童クラブ（まつぼっくり）は、さっそく収集を開始。称して、「エコキャップ運動」。子ども達の手で、公民館の自販機のわきにキャップ収集箱も設置し協力をお願いしました。しかし、集まるキャップの数はなかなか増えません。これを知った児童クラブの兄弟姉妹や保護者が地域・職場や中学校などで、はたらきかけを始まりました。さらに、多

くの人の協力が得られ、集まるキャップの数はぐっと増加しました。
○新たなつながりが
集まったキャップは、親子や仲間の手についているシールや汚れを取り除かれます。その数をかぞえ、まとまった

分ずつ袋につめます。「これだけしかないけど役に立てて。」とわざわざ届けてくださる方。小さな手で受け取り「ありがとう。」と笑顔でお礼を言う子ども達。押しつけではない自然な流れの中で、やさしい心の取り組みが静かに広まり、**顔の見える関係**も生まれています。取り組み始めて、ほぼ半年。これまでに集めたキャップの数は、すでに五万个以上（ポリオワクチン約六十人分）になるうとしています。



卵のパックを使い、キャップを数える作業